

# 山陽小野田市避難所開設・運営マニュアル

## 〈資料編〉

- 資料 1 避難所状況報告書【初動期用】
- 資料 2 避難所状況報告書【第 報】
- 資料 3 避難者調査表
- 資料 4 避難者カード（日本語版／英語版）
- 資料 5 避難者名簿
- 資料 6 避難所施設被害状況チェックシート
- 資料 7 食料・物資管理台帳
- 資料 8 避難所生活の心得
- 資料 9 勤務時間外の職員参集基準
- 資料 1 0 健康状態チェックリスト
- 資料 1 1 避難者健康チェックシート



## 避難所状況報告書【第 報】

避難所名 ( ) 年 月 日作成

送信者名				
送信日時		年	月	日 時 分
避難者数		人	内訳 (男 人・女 人)	
避難者世帯数		世帯	要配慮者人数	人
状 況	土砂崩れ	未発見 ・ あり ・ 警戒中		
	ライフライン	断水 ・ 停電 ・ ガス停止 ・ 電話不通		
	道路状況	通行可 ・ 渋滞 ・ 片側通行 ・ 通行不可		
連絡・対処すべき事項 (水及び食料の過不足／物資の過不足／避難者の生活環境・雰囲気など)				

※ 災害時要援護者とは、負傷者、災害遺児、乳児、衰弱した高齢者、障害者、妊産婦等を言う。

※ 報告先 社会福祉課 FAX番号 81-5695

MCA無線 122

電話 82-1174

災害用スマートフォン 災害救助部あてに無料通話

つながりにくい場合は 総務課 FAX番号 83-2604

MCA無線 011



## 避難者カード

避難所名 ( )		年	月	日	作成	
①	世帯代表者氏名				電 話	
	住 所					
②	入所年月日	年	月	日	所属自治会	
	※避難した人だけ書いて下さい					
	氏 名	年齢	性別	要配慮者	備 考	
	家					
	族					
	家屋の被害状況	全壊・半壊・一部損壊・断水・停電・ガス停止・電話不通				
親族などの連絡先	氏名					
	電話					
	住所					
ご家族に、入れ歯やめがねの不備、病気などの特別な配慮を必要とする方がいるなど注意点があつたらお書き下さい。						
③	他からの問い合わせがあつたとき、住所及び氏名を公表してもよいですか？			よい ・ よくない		
④	退所年月日	年	月	日		
	転出先住所					
	電 話					

※要配慮者とは、負傷者、災害遺児、乳児、衰弱した高齢者、障害者、妊産婦等をいい、該当すれば要配慮者の欄に○を記入する。

避難者カード / Emergency Evacuation Card

避難所名 ( ) 年 月 日作成

①	世帯代表者氏名 Householder		電話 TEL			
	住所 Address	〒				
②	入所年月日 Entry Date	YY MM DD 年 月 日	所属自治会 residents' association			
	※避難した人だけ書いて下さい Evacuees Only					
	氏名 Name	年齢 Age	性別 Gender	個別支援 Individual support	備考 Remarks	
	家族	Family Members		<input type="checkbox"/> 男/M <input type="checkbox"/> 女/F	<input type="checkbox"/> 要 <input type="checkbox"/> Needed	
		Family Members		<input type="checkbox"/> 男/M <input type="checkbox"/> 女/F	<input type="checkbox"/> 要 <input type="checkbox"/> Needed	
		Family Members		<input type="checkbox"/> 男/M <input type="checkbox"/> 女/F	<input type="checkbox"/> 要 <input type="checkbox"/> Needed	
		Family Members		<input type="checkbox"/> 男/M <input type="checkbox"/> 女/F	<input type="checkbox"/> 要 <input type="checkbox"/> Needed	
		Family Members		<input type="checkbox"/> 男/M <input type="checkbox"/> 女/F	<input type="checkbox"/> 要 <input type="checkbox"/> Needed	
		Family Members		<input type="checkbox"/> 男/M <input type="checkbox"/> 女/F	<input type="checkbox"/> 要 <input type="checkbox"/> Needed	
	家屋の被害状況 Property Damage	具体的な内容を記入してください。 Please Provide the detailed information <input type="checkbox"/> 全壊 Complete Collapse ・ <input type="checkbox"/> 半壊 Half Collapse ・ <input type="checkbox"/> 一部損壊 Some Collapse <input type="checkbox"/> 断水 Water outage ・ <input type="checkbox"/> 停電 power outage ・ <input type="checkbox"/> ガス停止 Gas stop <input type="checkbox"/> 電話不通 Phone interruption				
親族などの連絡先 Contact Address Next of Kin or Guardian	氏名 Name					
	電話 TEL					
	住所 Address	〒				
③	他からの問い合わせがあったとき、住所及び氏名を公表してもよいですか？ Privacy policy: I allow an administrator of the emergency shelter to provide my information,i.e.name and address,if someone inquires my safety		<input type="checkbox"/> 要 ・ <input type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/> Yes ・ <input type="checkbox"/> No			
④	退所年月日 Leaving Date	年 月 日				
	転出先住所 New Address	〒				
	電話 TEL					

備考：「個別支援」を「要」とされた方には、別途「個別支援調査表」へ記入願います。  
 Note: All those who need the individual support, please fill out 'Individual Support Questionnaire'.



## 避難所施設被害状況チェックシート

- 大規模災害発生時は、避難所を開設する前に必ず施設の安全性を確認します。
- 施設の安全性は応急危険度判定士・建築士等が行うことが望ましいですが、緊急を要する場合は、避難所管理責任者、施設管理者等の必ず2人以上で施設の被害状況を確認し、使用可能かどうか判断します。
- 外観から一見して危険と判断できる場合は、直ちに避難所施設の使用を中止し、市災害対策本部に連絡します。

避難所 名 称				
確認日時	年 月 日 ( )	: 頃	記録者 氏 名	
区分	チェック項目	いいえ	はい	程度・状態等
外 観	建物が崩壊している			
	火災が発生している			
	ガスの臭いが漂っている			
敷地 ・ 駐 車 場	地割れが発生している			
	地盤が沈下又は隆起している			
	地盤の液状化が発生している			
	出入口が破損している(車両が進入できない)			
	電柱が倒れている			
建 物 外 部	電線が垂れ下がっている			
	建物の基礎が壊れている			
	建物が傾いている			
	外壁材が剥がれたり落下している			
	屋根材が壊れたり落下している			
	窓ガラスが破損している			
	非常階段が破損している(使用できない)			
建 物 内 部	給水管が破損し水が噴出している			
	出入口のドアが開閉できない			
	照明器具等が破損又は落下している			
	窓ガラスの破片等が散乱している			
	天井材が落下している			
	床面に陥没又は大きなひび割れがある			
	内壁に剥落又は大きなひび割れがある			
柱が折れている又は大きなひび割れがある				
防火扉が閉鎖している				
(その他の気付き)				

## ○総合判断

※ チェック項目の状況を総括し、避難所施設として使用可能かどうか判断します。  
チェック項目のうち一つでも「はい」がある場合は、原則として必要な措置を講じるまで施設内の立入りを禁止します。

- 使用可能
- 必要な措置の実施後、使用可能
- 使用不可能





## 避難所生活の心得

避難所は、市民の安全を確保するため、一時的に避難し、生活する場所として開設しています。通常的生活環境と違い、共同生活となりますので、多くの御不便をお掛けすることとなりますが、避難者の皆様が少しでも快適に生活できるよう努めますので、御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

避難所生活を共同して行うため、以下の点に注意してください。

1 避難所運営にご協力をお願いします。

- (1) 避難所生活のルールは、避難所運営委員会で協議し、決定・変更を行います。
- (2) 避難所生活を円滑に、また少しでも快適になるよう各活動班を設置していますので御協力をお願いします。
- (3) 各居住グループは、グループリーダーを中心として共同生活を行ってください。

2 決められた時間を守ってください。

避難所生活は、共同生活となりますので、規則正しい生活を送るために決まった時間を設定しています。

起床時間	時	分		
消灯時間	時	分		
朝食時間	時	分	～	時 分
昼食時間	時	分	～	時 分
夕食時間	時	分	～	時 分

3 労力の必要な作業は、全員の協力で行います。

食料・物資の搬入、生活用水の確保、炊き出し等の労力が必要な作業は、全員の協力で行います。このほかの作業もできるだけ協力し合って行ってください。

4 掲示板を毎日1回は必ず確認してください。

大切な情報を掲載していますので、漏らさず確認してください。

5 特別の事情のある方への配慮をお願いします。

乳幼児、子ども、妊産婦、介助が必要な高齢者や障がい者等の方々への配慮をお願いします。なお、障がいの中には目に見えないものがありますので注意してくだ

6 プライバシーの確保に御協力をお願いします。

避難所生活ではプライバシーがなくなりがちですが、お互いに配慮してください。

7 食料・物資の配給は、原則として平等に行います。

ただし、食料・物資が十分に配給できない場合は、子ども、妊産婦、高齢者などを優先して配給することがありますので、御理解をお願いします。

8

外泊・退所される場合は、必ず連絡をお願いします。

外泊・退所される場合は、事前に居住グループリーダーを通して事務局まで必ず御連絡をお願いします。

9

共同生活のルールを守ってください。

(1) 個人のことは個人の責任で、また世帯のことは世帯の責任で行ってください。

貴重品は、常に携帯する等、個人で管理してください。

(2) 個人のスペースであっても、清潔を保ち、整理・整頓に努めてください。

(3) 災害によりごみ処理機能が低下していますので、分別収集を徹底するとともに、削減に努めてください。

(4) 避難所施設内は、原則、火気厳禁です。

(5) 避難所施設内は、禁煙です。喫煙は指定された場所で行ってください。

(6) ペットは、指定された場所で飼育してください。

(7) 他の方への迷惑行為は、厳につつしんでください。

## 勤務時間外職員参集基準

### 1 参集職員

(災害時共通)

- (1) 第1・第2警戒体制については、あらかじめ所属長が指名した職員をもって配備にあたる。

(風水害等)

- (2) 水防本部体制については、水防本部を構成する各対策部署の一部又は全部の所要職員を持って配備にあたる。

なお、災害対策本部が設置された場合は、全職員による体制となる。

(地震・津波)

- (3) 第3非常体制（震度5弱以上・大津波警報）については、避難所管理責任者、第2警戒体制配備課の全職員及び係長以上の全職員の自主参集をもって配備にあたる。

- (4) 第4非常体制（震度6弱以上）については、全職員の自主参集をもって配備にあたる。

※ 第3及び第4非常体制配備の震度の判断については報道機関の放送、揺れなどから職員自ら判断することになる。

### 2 参集場所

- (1) 避難所管理責任者・担当者（避難所管理責任者・担当者一覧表参照）

担当避難所に参集し「避難所開設・運営マニュアル」に基づき、避難所を開設し、運営を行う。（22ページ参照）

- (2) 警戒体制配備課の職員

それぞれの職場に参集する。

- (3) 上記1，2以外の職員

所定の参集場所に参集する。ただし、災害による交通途絶のため、配備につくことができない場合は、所属長にその旨を連絡し、最寄の避難所等又は市の施設に参集する。

勤務時間外配備体制表

(配備された課は総務課へ連絡すること)

(風水害)

	配備基準	配備課
第1警戒体制	山陽小野田市に大雨、洪水、高潮の各注意報の一つ以上、又は暴風、大雪、暴風雪の各警報の一つ以上が発表されたとき。	総務課、建設部、農林水産課
第2警戒体制	山陽小野田市に大雨、洪水、高潮の各警報の一つ以上が発表されたとき。	総務課、企画部、社会福祉課、農林水産課、建設部、山陽総合事務所、教育委員会事務局、その他災害の実態に応じ、応急措置を実施する課
水防本部体制	水防本部設置時	水防本部構成部署の所要職員
災害対策本部体制	災害対策本部設置時	災害応急活動に従事できる職員全員

(地震・津波)

	災害	配備基準	配備課
第1警戒体制	地震	震度3の地震が発生	総務課、建設部（農林水産課含む）、水道局
	津波	津波注意報 (山口県瀬戸内海沿岸)	総務課、企画部、社会福祉課、農林水産課、建設部
第2警戒体制	地震	震度4の地震が発生	総務課、企画部、環境課、社会福祉課、農林水産課、建設部、山陽総合事務所、教育委員会事務局、水道局
	津波	津波警報 (山口県瀬戸内海沿岸)	総務課、企画部、社会福祉課、農林水産課、建設部、山陽総合事務所、教育委員会事務局
第3非常体制	地震	震度5弱以上の地震発生	全課 <ul style="list-style-type: none"> <li>・係長級以上の全職員</li> <li>・第2警戒体制の配備課の全職員</li> <li>・避難所管理責任者</li> <li>・本庁初動要員</li> <li>・災害状況により全職員</li> </ul>
	津波	大津波警報 (山口県瀬戸内海沿岸)	
第4非常体制	地震	震度6弱以上の地震発生	全職員による非常体制 【災害対策本部体制】



### 避難者健康チェックシート

氏名(ふりがな)	年齢

避難所名:

体温測定		／ (月)	／ (火)	／ (水)	／ (木)	／ (金)	／ (土)	／ (日)
		朝 °C	朝 °C	朝 °C	朝 °C	朝 °C	朝 °C	朝 °C
		昼 °C	昼 °C	昼 °C	昼 °C	昼 °C	昼 °C	昼 °C
		夜 °C	夜 °C	夜 °C	夜 °C	夜 °C	夜 °C	夜 °C
息苦しさ	★ひとつでも該当すれば「はい」に○ ・息が荒くなった(呼吸数が多くなった) ・急に息苦しくなった ・少し動くと息があがる ・胸の痛みがある ・横になれない・座らないと息ができない ・肩で息をしたり、ゼーゼーする	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
におい・味	においや味を感じない	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
せき・たん	せきやたんがひどい	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
だるさ	全身のだるさがある	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
吐き気	吐き気がある	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
下痢	下痢がある	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
その他	★その他の症状がある ・食欲がない ・鼻水・鼻づまり・のどの痛み ・頭痛・関節痛や筋肉痛 ・一日中気分がすぐれない ・からだにぶつぶつ(発疹)が出ている ・目が赤く、目やにが多い など	はい・いいえ (症状)	はい・いいえ (症状)	はい・いいえ (症状)	はい・いいえ (症状)	はい・いいえ (症状)	はい・いいえ (症状)	はい・いいえ (症状)
チェック欄								